

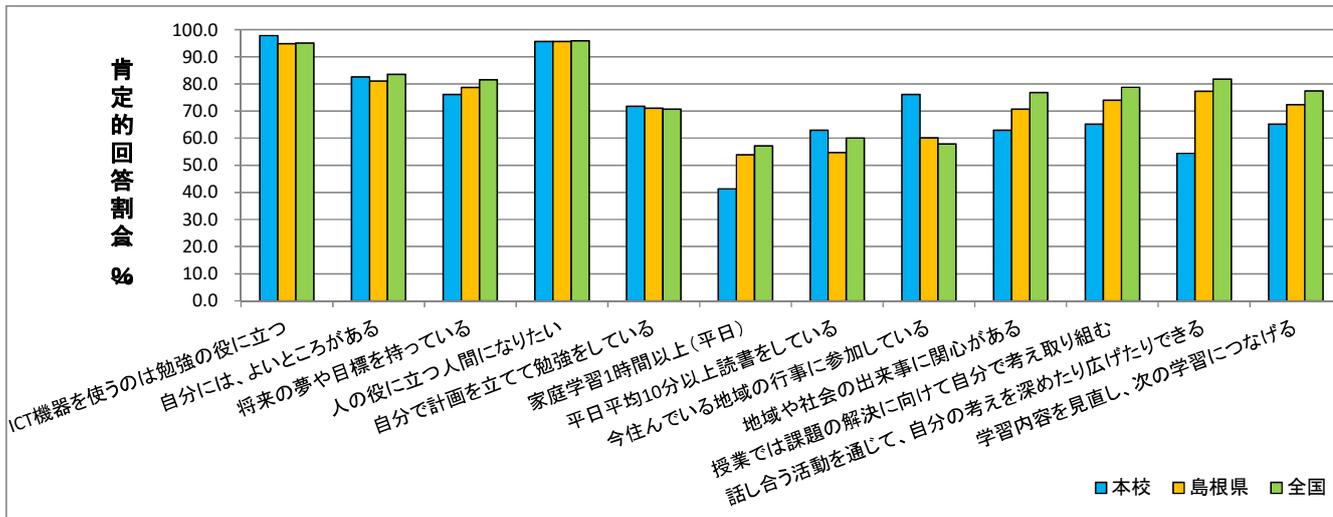
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○熟語を漢字で書いたり、意味を理解して使い分けたりすることができる。 ○話し手の思いを受け、自分の考えをまとめることができる。 ●条件が複数ある場合、それらすべてを満たして文章を書くことができない。 ●「話す・聞く」に関して、話し手の質問の意図を理解することができない。	・授業の中で、いくつかの条件を満たして内容をまとめる文章を書く機会を設定する。 ・話し合い活動の充実を図り、話し手の思いを受けて意見を言ったり質問をしたりする経験を重ねる。
算数	○「変化と関係」など、表を見て答えることはよくできる。 ●問題文や図などから必要な情報を見つけたり選んだりすることができない。 ●図形に関して、名前と性質を一致して理解することができない。	・授業の中で、自分の考えを理由や根拠を明らかにして話すことや、全員で共有する場面をもつ。 ・比べたり調べたりする操作的活動を通して、図形などの性質を理解できるようにする。

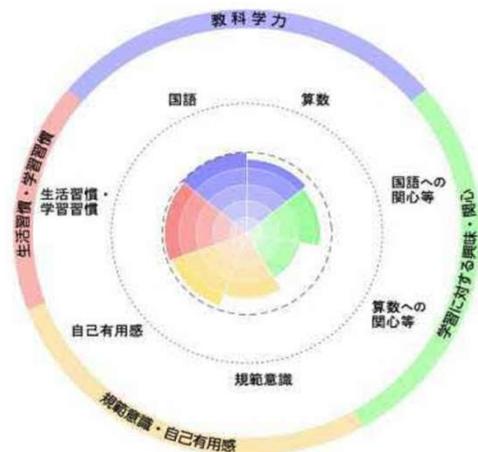
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○自分にはよいところがあると肯定的に捉えている児童が多い。 ○自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童が多い。 ●読書の習慣はあるが、読書が好きではない児童が多い。 ●家庭学習の時間が少ない児童が多い。	・家庭学習の内容や質を見直し、得意なこと苦手なことも力が伸ばせるような工夫を共有する。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・課題の提示を工夫して、授業が楽しく感じられるようにする。
- ・スモールステップでの学習やユニバーサルデザインを心がける。

【受検者数】  
46名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。